

きいて・めもして・こたえよう

せいねんかいがいきようりよくたい はなし
青年海外 協力 隊の話

なまえ
名前

きいて 海外での「活動内容」と、「現地の課題」を、分けてメモしまし
よう。

ことば かつどうないよう げんち かだい すうじ
おとさない言葉：活動内容・現地の課題・数字

ほうそう
放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。



やまおり

(1) 森川さんは、村の小学校でおもに何を教えていましたか。

(2) 教科書やえんぴつが足りないなか、森川さんがした工夫はどれですか。○をつけましょう。

ア 地面に木のぼうで数字を書いて教えた
イ 日本から新しい教科書を毎日送った
ウ じゅぎょうをやめた

(3) その村の「いちばんの課題」は何だと言っていましたか。

(4) 水の課題は、子どもたちの学校生活にどのようなえきようをあたえていましたか。○をつけましょう。

ア 水くみのため学校に來られない日もあった
イ まったくえいきようはなかった
ウ 水が多すぎて通えなかった

(5) 森川さんの話を聞いて、あなたが世界の国について「知りたい」と思ったことを、理由とともに書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声を流す）。読む回数：1回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

今日は、青年海外協力隊として、外国で、活動した、森川さんの、お話です。森川さんが、げんちで、どんな、活動を、したのか、そして、その、土地の、課題は、何かを、聞き取りましょう。

「わたしは、アフリカの、ある国で、二年間、活動しました」と、森川さんは、話します。「村の、小学校で、算数を、教える、仕事です。教科書も、えんぴつも、足りません。そこで、地面に、木の、ぼうで、数字を、書いて、教えたり、石を、使って、数を、数えたり、工夫を、しました。」

「その、村の、いちばんの、課題は、水でした」と、森川さんは、続けます。「じゃ口を、ひねれば、水が、出る、日本とは、ちがいます。子どもたちは、毎朝、遠くの、川まで、何十分も、歩いて、水を、くみに、行きます。その、ため、学校に、来られない、日も、ありました。」

「それでも」と、森川さんは、笑顔で、言いました。「子どもたちは、学ぶことが、大すきでした。新しい、ことを、知ると、目を、かがやかせます。その、すがたに、わたしのほうが、たくさんの、ことを、教えて、もらいました。」

森川さんは、最後に、こう、伝えました。「世界には、みなさんの、知らない、くらしが、たくさん、あります。まずは、『知ろう』と、関心を、もつこと。それが、世界と、つながる、第一歩です。」

メモのれい

青年海外協力隊・森川さんの話（活動内容・現地の課題）

活動：アフリカの ある国で2年間／村の小学校で算数を教える／木のぼう・石で工夫

現地の課題：水。毎朝遠くの川まで何十分も歩いて水くみ→学校に来られない日も

気づき：子どもは学ぶことが大すき／世界には知らないくらしがある→関心をもつことが第一歩

こたえと かいせつ

（1）算数

「村の、小学校で、算数を、教える、仕事です」と言っていました。

（2）ア（地面に木のぼうで数字を書いて教えた）

「地面に、木の、ぼうで、数字を、書いて…石を、使って、数を、数えたり」と工夫を話しました。

（3）水

「その、村の、いちばんの、課題は、水でした」と言っていました。

（4）ア（水くみのため学校に来られない日もあった）

「遠くの、川まで…水を、くみに、行きます。その、ため、学校に、来られない、日も、ありました。」

（5）（例）その国では、どんな食べ物を食べているのか知りたい。くらしのちがいをもっと知りたくなったから。

「知りたいこと」と「理由」が書けていれば正解です。